SUPERBIKE EXpress--

EXtra, EXpert and EXtreme

MFJ Superbike Round3 **KYUSHU MOTORCYCLE FESTA 2010** 22-23 May

KYUSHU MOTORCYCLE FESTA 2010

2010 PETRONAS ASIA ROAD RACING CHAMPIONSHIP Round 2 / 2010 MFJ ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP Round 3

柳川 明 ポールポジション

QUALIFYING PRACTICE & RACE

OFFICIAL RESULTS
REPORT & INTERVIEW

©Motorcycle Federation of Japan 2010

柳川明が不安定なコンディションの中 驚異的な走りでポールポジションを獲得 悲願のオートポリス初優勝を達成できるか!?

2番手グリッドはディフェンディングチャンピオンの中須賀克行が確保

決勝に照準を合わせた秋吉耕佑は3番手フロントロウからスタート

JSB 1000 All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP　J-GP2 All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

QUALIFYING PRACTICE REPORT&INTERVIEW

2002年に九州で初開催されて以来、9回目となる全日本ロードレース選手権オートポリスラウンド。最高峰となるJSB1000クラスの公式予選は今回もノックアウト方式で行われた。

Q1セッションが始まる頃から、空からは雨が落ちてくるものの、路面を濡らすほどではなくスリックタイヤでタイムアタックに入る。セッション開始直後にウエット宣言されたこともあり、タイヤの使用制限が解除され、各セッションでニュータイヤの投入が可能となった。いつ雨が強くなるか分からない状態だけに、上位陣は、Q1では24番手以内に、Q2セッションでは12番手以内に残るタイムを出しておきたい状況だった。とはいえ雨の降る中でのタイムアタックはリスクが高かった。この難しいコンディションを制したのは“ライムグリーンモンスター”柳川明だった。柳川は、Q1でただ一人1分50秒台を出しトップにつけると、Q2を2番手でクリア、迎えたQ3セッションでは小雨の降る中、自己ベストとなる1分50秒193 という驚異的なタイムをマークし、ポールポジションを獲得した。

「チームが努力してくれたおかげで、まずは予選で結果を出すことができたね。毎年オートポリスでは、勝てそうで勝てないレースをしてきているし、チームや九州の応援してくれている人たちの期待を感じている。それに応えたいからね。今年こそ勝てるように頑張るよ」と柳川。

2番手に3年連続チャンピオンを狙う中須賀克行は「何があるか分からない状況なので、予選もベストを尽くしました。難しいレースになりそうですが、マシンの状態もまとまっているので、やるしかないですね」とコメント。

J-GP2クラスは、ST600仕様の山口辰也がトップで13番手

一方、最終セッションで意外におとなしかったのが秋吉耕佑だ。実は、Q3でタイヤ交換をせず、Q2で履いたタイヤでアタックしており、その状態でも1分50秒633をマークして3番手、フロントロウにつけたのだった。「大事なのは予選よりも決勝ですからね。マシンは100%に近い状態に仕上がっているのでレースを引っ張れると思います」と自信をのぞかせる。

4番手には亀谷長純が自己ベストとなる1分50秒966をマークしてつけた。

「事前テストのときは、どうしようかと思ったぐらいマシンが決まらなかったけれど、レースウイークに入って、いろいろ条件がそろってきている。まだトップを狙うには厳しいけれど、何とかトップ争いに加わっていきたいね」と亀谷。

暫定ポイントリーダーの高橋巧は、難しいコンディションを攻めきれずに5番手、負傷をおして出場している伊藤真一は着実にタイムを縮めて6番手につけている。

トップ争いはカワサキのエース柳川、韋駄天・秋吉、そしてゼッケン1をつける中須賀の九州勢が中心となって展開されるだろう。ただ、決勝日の天候、コンディションによっても、その勝敗が左右される可能性がある。

混走で行われているJ-GP2クラスには、今回8台がエントリー。この中でST600クラスとダブルエントリーしている山口辰也が得意のコースでトップタイムをマークしている。小西良輝は2番手、生形秀之が3番手、宇井陽一が4番手、高橋江紀が5番手で続いた。

日曜日の天気予報は雨。完全なウエットコンディションで走ったライダーは、事前テストからは皆無だ。不確定な要素を残しつつ迎えるレースには、どんな運命が待っているのだろうか?
柳川が悲願のオートポリス初優勝を達成するか!?
秋吉のワンサイドレースとなるか!?
それとも中須賀がV2チャンピオン意地を見せるか!?
国内最高峰のバトルを見逃すな!

[佐藤 寿宏]

Pole Position　柳川 明　1'50.193

『チームのみんなが頑張ってくれて、いいマシンに仕上げてくれた。去年のコースレコードを破ってやろうと思っていたし“出さなきゃ”っていう使命感もあった。予選の直前で雨がパラパラきて、難しい条件だった。Q1はもっとタイムが接近すると思って50秒3を出したけれど、ここで出してもグリッドに反映されないし、Q2は12台に残ることを考えてマシンのチェックと路面状況のチェックだけしてQ3に挑んだ。Q3が一番路面が濡れていたけれど攻めていった。コンマ何秒かの差だけど、ポールポジションを獲れてうれしい。残念ながらコースレコードは出せなかったけど、決勝で使う予定のタイヤを使って、あの状況で自己ベストが出せたので満足しています』

J-GP2 All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

Top Time　山口 辰也　1'55.931

『今回、初めてダブルエントリーしていますが、(森脇)尚護監督の的確なアドバイスもあってJ-GP2もST600も順調にセットアップできていますね。ST600の方は、最後のアタックの時、最終コーナーで他のマシンに引っかかりながら出したのがベストタイムでした。J-GP2でも、あれだけ雨が降っていながら1分55秒台に入れられたし、アベレージもいいのでレースが楽しみ。メカさん、KYBさんも頑張ってくれているので結果で応えたいと思っています』

QUALIFYING PRACTICE
REPORT&INTERVIEW

各クラスのポールシッター。(左から)ST600大崎 誠之、JSB1000柳川 明、J-GP3山本 剛大

大崎誠之がレコードを更新してポールポジション

Pole Position 大崎 誠之 *1'55.370*

『250ではよく獲っていたけど4ストロークでは久しぶりのポールポジションなので素直にうれしいですね。金曜日はすごく暑くてタイヤのグリップが悪く、目標タイムには全然届かなかったけれど、予選ではコースへ出てすぐにグリップがいいなと感じた。軽く1周走っただけなのに1分58秒というタイムが出た。(タイムを出した周は)前にいたマシンとの間隔を見て最終コーナーでちょっとだけアクセルを戻したけれど55秒3。あのままアタックを続行してもっとタイム縮めたかったけど、ポールが獲れたのでよかった。ボクは雨が好きなので、決勝はかなり荒れた展開になると思うけれどベテランらしく、うまく状況をみて勝てるように頑張ります』

初ポールポジションを獲得した山本 剛大(Team NOBBY)

Pole Position 山本 剛大 *1'59.500*

『初めてのポールポジションなので、すごくうれしいです。金曜日も単独で走って、いいタイムを出せたので、予選もひとりでタイムを出してやろうと思っていました。みんなと一緒にならないように少しコースインを遅らせて、前半に集中して走ったら、3周目にクリアラップでタイムアタックすることができて、それがポールポジションのタイムになった。もっと上のタイムを狙っていきたかったけれど、ミスが多くタイムにつながらなかったので、そこはちょっと反省しています。(上田昇)監督には、よくやったと言われました。決勝は雨だと思うけれど、雨はけっこう得意。できれば前半で差をつけて、後半は無理せず自分の世界に入って走れたらいいと思っています』

GP-MONO
All JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

●予選・決勝開催日／5月22日(土)
●天候・路面／予選・決勝(曇／ドライ)
●決勝レース／10周

RACE REPORT
REPORT&INTERVIEW

雨のバトルを制した小室旭が開幕戦に続き2連勝!

午後からパラパラと降り出した雨はGP-MONOの決勝がスタートするころには本降りとなっていた。風も強く、気温も急激に下がり難しいコンディションの下でのレースとなった。

レース序盤は小室旭、谷川壮洋、川野泰成がトップ争いを展開していたが、7周目あたりからペースを上げた谷川、小室の一騎打ちとなり、そのバトルは最終ラップまでもつれ込む。最後のスパートで引き離したい小室、そのテールを捕らえたい谷川だったが第2ヘアピンで谷川が痛恨の転倒。小室は最終ラップに、このレースのベストタイムをマークしトップでチェッカー、今シーズン2度目の優勝を決めた。単独走行だった川野が2位に入り、転倒後、再スタートした谷川が3位でゴールした。

WINNER 優勝／小室 旭

『これまで開幕戦で勝っても、そのあと勝てないシーズンが続いていたので“2010年は変わろうよ”とメカニックと話していました。コンディションは難しかったけれど、今までの経験を生かし落ち着いてレースができたと思う。自分のマシンだけが速い部分は特になかったけれど、抜かれるところと追いつくところを7周くらいまで見て、頭の中で(戦略を)組み立てました。思い通りの場所で前に出ることができ、結果的にうまくいきましたね。ボクと谷川選手のマシンは同じくらい走っていた。トップグループの中では川野さんのマシンが苦しそうでしたね。よく頑張ったと思います。これで気を抜かず次回のSUGOも同じ結果になるように、テストを十分にこなしたいですね。』

UB115 / SS600 アジア選手権シリーズ第2戦 今年もオートポリスで開催

FIMアジアドーロレース選手権は、Moto GPと同じFIM公認の国際選手権レース。マレーシア・日本・インドネシア・インド・中国・カタールのアジア主要国にてシリーズ展開され、シリーズ第2戦は昨年に引き続きオートポリスが舞台となる。

開催クラスは現在、最高峰クラスのスーパースポーツ600cc(SS600)、アジア市場で浸透しているアンダーボーン115cc(UB115)の2カテゴリーで、金曜日が公式予選、決勝レースは土曜日にレース1と日曜日にレース2がそれぞれ開催される。今回はUB115が11:30〜、SS600が13:30から、それぞれの決勝レース2がスタートする。

アンダーボーンとは、フレーム全てがフロア下に収められているタイプのバイク。主にスクーターに使用されているフレーム形式で、燃料タンクが通常の位置にないためニーグリップができず、独特なライディングが必要になる。インドネシアなどでは普段の足として使われる他、レースも盛んに行われている。アンダーボーンから生まれた速いライダーが日本や世界で活躍する日も遠くはない!?

コーナー毎に順位が入れ替わるUB115

Photo by Y.Harada/H.Wakita(c)

MFJ Superbike Round3 **KYUSHU MOTORCYCLE FESTA 2010** 22-23 May　公式予選結果

JSB 1000 / J-GP2

●予選：天候／雨　路面／ウェット　出走34台
●決勝スタート／14:40（18周）

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	☆87	JSB	柳川 明	TEAM GREEN	ZX-10R	1'50.193
2	☆1	JSB	中須賀 克行	YSPRacingTeamwithTRC	YZF-R1	1'50.317
3	64	JSB	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	CBR1000RR	1'50.633
4	☆6	JSB	亀谷 長純	Honda DREAM RT 桜井ホンダ	CBR1000RR	1'50.966
5	☆634	JSB	高橋 巧	MuSASHiRTハルク・プロ	CBR1000RR	1'51.115
6	☆33	JSB	伊藤 真一	KeihinKoharaR.T.	CBR1000RR	1'52.188
7	54	JSB	武田 雄一	TAIRARacing	YZF-R1	1'52.357
8	48	JSB	出口 修	PLOT PANTHERA	GSX-R1000 L0	1'52.623
9	51	JSB	高橋 英倫	BEET RACING	ZX-10R	1'52.941
10	☆32	JSB	新庄 雅浩	MotoMap SUPPLY	GSX-R1000 L0	1'53.977
11	15	JSB	須貝 義行	チームスガイレーシングジャパン	1098R	1'54.683
12	16	JSB	東村 伊佐三	RS-ITOH&ASIA	ZR-10R	1'57.567
***** 以上Qualify 3 にて決定 *****						
13	91	J-GP2	山口 辰也	モリワキクラブ	CBR600RR	R1'55.931
14	69	JSB	首藤 和徳	壁屋一家TDA.WB+シェイク	YZF-R1	1'55.959
15	66	JSB	村上 雅彦	ウッドストック南海部品広島店	GSX-R1000 K9	1'56.360
16	73	J-GP2	小西 良輝	MuSASHiRTハルク・プロ	CBR600RR	1'56.684
17	67	JSB	柚木 力	モトバムレーシング	CBR1000RR	1'57.236
18	55	J-GP2	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング	GSX-R600	1'57.449
19	20	JSB	吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	1'57.557
20	41	J-GP2	宇井 陽一	41PLAN/PRO-TEC	YZF-R6	1'58.206
21	88	JSB	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING	YZF-R1	1'58.224
22	83	JSB	中村 知雅	中村Eng&ジャパンプランニング	CBR1000RR	1'59.030
23	25	JSB	原田 洋孝	R.S.ガレージハラダ姫路	ZX-10R	2'00.302
24	93	J-GP2	高橋 江紀	バーニングブラッドRT	RBB6	2'00.425
***** 以上Qualify 2 にて決定 *****						
25	27	JSB	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR1000RR	1'57.652
26	65	JSB	高津 信行	ガレージカオス+うかれ亭	CBR1000RR	1'58.089
27	96	JSB	吉田 眞悟	佐世保レーシングプロジェクト	GSX-R1000	1'58.227
28	40	JSB	西 浩史	マルマエ&5ヘリテクス+24R	YZF-R1	1'58.230
29	70	J-GP2	中尾 健治	レイラスポーツ	YZF-R6	1'59.587
30	36	JSB	鈴木 大五郎	ビューエルレーシング	1125R	1'59.763
31	68	JSB	田中 公司	グリーンス・パーク田中RT	ZX-10R	2'00.547
32	78	J-GP2	小田 茂昇	エスパルスドリームレンジャー	GSX-R600	2'00.550
33	79	J-GP2	朝比奈 正	アサヒナレーシング	Z600	2'00.872
***** 以上予選通過基準タイム（ 2'02.108 - 110% ）*****						
	99	JSB	戸田 隆	G-TRIBE	S1000RR	2'30.975
***** 以上Qualify 1 にて決定 *****						

"☆"マークは、シード権保持者

GP-MONO　決勝結果

●予選・決勝開催日：5/22（土）天候／晴
路面／ドライ　出走25台　決勝レース（10周）

Pos	No	Rider	Team	Machine	Lap	Total Time
1	2	小室 旭	TeamKOMUROwithHARC	HP250RF	10	22'13.663
2	45	川野 泰成	新日本エナジー/プリミティブR.T	PRCS250F	10	22'25.679
3	6	谷川 壮洋	CLUB PLUS ONE	HP250-ハルク	10	22'33.751
4	7	岡田 義治	MRF&RH松島&SUN'S	PO-CRF250FI	10	22'34.375
5	3	藤井 謙汰	TSR	ACH250M	10	22'35.738
6	63	伊藤 公一	クリエイティブサイン	モリワキMD250H	10	22'35.878
7	35	森田 直樹	Projectμ7C HARC	HP250RF	10	22'43.557
8	46	星野 知也	ミクニiBeatテリー&カリー	MIH	10	22'44.246
9	25	髙木 伸一	ドリーム北九州・Life	Life250F	10	22'54.884
10	22	江崎屋 学	犬の乳酸菌.JP/PRCS	PRCS250F	10	23'20.258
11	54	中村 正秀	ヒガシEng&九州工業大学	HE10	10	23'20.346
12	14	山本 恭裕	広島カジタRacing&LRC	GPMR250	10	23'20.709
13	17	坪川 浩明	TEAM-MARGUERITE	MD250H	10	23'27.738
14	52	丸野 恒	チームいずみ + バネのチカラ	GR-25	10	23'31.029
15	71	大迫 敏信	TEAM PLUS ONE	モリワキMD250	10	23'36.672
16	61	楠元 晃一	Garage130R&Jr's	YZ250RF	10	23'36.800
17	24	赤間 清	CLUB HARC-PRO.	HP250F	10	23'37.919
18	48	法月 多嘉夫	MARS&OMEGA&RPベアー	MARSKX250F	10	23'41.487
19	23	畑中 要	FTR・タイヤナビ・Big☆敦	YZ250F	10	23'46.428
20	87	野村 允	RSS★SHOWA	MD250H	10	23'48.240
21	41	岡崎 静夏	TeamSHIZU&if	HP250RF	10	23'48.253
22	51	増田 顕也	クラブM+松田塾+獺RT	RBB-MONO	10	23'53.448
23	18	松井 洪称	TEAM PLUS ONE	ハルクGPMR	10	23'56.959
24	72	岩本 有司	（有）岩本商事+Kfb/PRCS	PRCS250F	10	23'57.210
25	33	今村 洋介	チームいずみ&Nothing	RS250F	10	23'59.028

***** 以上チェッカー *****
***** 以上完走（7Laps）*****

Fastest Lap
2'10.443（10 / 10）　128.994 km/h　小室 旭 / TeamKOMUROwithHARC
Start Time :16:44'03　Finish Time :17:06'16.663

ST 600

●予選：天候／曇　路面／ドライ　出走49台
●決勝スタート／15:55（16周）

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	75	大崎 誠之	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	R1'55.370
2	30	山口 辰也	モリワキクラブ	CBR600RR	R1'55.560
3	19	國川 浩道	92R・HiRaNo	CBR600RR	1'56.136
4	634	小林 龍太	MuSASHiRTハルク・プロ	CBR600RR	1'56.435
5	56	岡村 光矩	RSGレーシング&フィービー	CBR600RR	1'56.484
6	53	田中 浩哉	team MOTOBOY	ZX-6R	1'56.595
7	2	中冨 伸一	HiTMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	1'56.845
8	26	稲垣 誠	AKENO SPEED	YZF-R6	1'56.884
9	31	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'56.894
10	99	野田 弘樹	テルル・ハニービーレーシング	CBR600RR	1'56.907
11	3	佐藤 裕児	HiTMANRC甲子園 ヤマハ	YZF-R6	1'57.095
12	62	横江 竜司	RT 森のくまさん佐藤塾	YZF-R6	1'57.161
13	11	渡辺 一馬	CLUB PLUS ONE	CBR600RR	1'57.178
14	29	Chalermpol Polamai	PetronasYamahaThailandMHP	YZF-R6	1'57.262
15	35	中山 真太郎	ATU.AKITeamしんたろうwithKRT	CBR600RR	1'57.281
16	36	徳留 和樹	バーニングブラッドRT	CBR600RR	1'57.316
17	25	Decha Kraisart	PetronasYamahaThailandMHP	YZF-R6	1'57.379
18	58	太田 達也	グリーンクラブ&Team能塚	ZX-6R	1'57.393
19	13	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	CBR600RR	1'57.460
20	72	宮崎 敦	伊藤レーシングGMDスズカ	YZF-R6	1'57.907
21	76	伊藤 勇樹	DOG FIGHT RACING	YZF-R6	1'58.077
22	77	岡嶋 晋也	RS-ITOHGTMM丸進金属	ZX-6R	1'58.156
23	73	中上 貴晶	MuSASHiRTハルク・プロ	CBR600RR	1'58.158
24	55	長谷川 直樹	HMF&ASOGASAWARA	GSX-R600K8	1'58.183
25	49	須磨 貞仁	H.M.F	GSX-R600	1'58.226
26	705	黒川 武彦	松本クリニックVIPBスピード	ZX-6R	1'58.232
27	82	原田 武人	グリーンクラブ&Team能塚	ZX-6R	1'58.288
28	37	医王田 章弘	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'58.320
29	34	山浦 司	谷口ENGテック3ファルコンズ	YZF-R6	1'58.333
30	44	斉藤 一輝	ウイングヨシイRC	CBR600RR	1'58.354
31	6	岩田 悟	TSR	CBR600RR	1'58.399
32	91	中山 智博	RS-ITOH	ZX-6R	1'58.602
33	81	佐藤 周	MST★TAMITON-R	ZX-6R	1'58.784
34	61	藤島 翔太	モリワキクラブ	CBR600RR	1'58.877
35	63	片平 亮輔	松本クリニックガレージスピード	CBR600RR	1'58.959
36	52	豊田 浩史	D;REX	YZF-R6	1'59.080
37	54	白木 晶夫	グリーンクラブ&Team能塚	ZX-6R	1'59.102
38	88	友下 哲也	ドリーム北九州・Life・T's	CBR600RR	1'59.235
39	43	小田 茂昇	エスパルスドリームレンジャー	GSX-R600	1'59.246
40	28	東浦 正周	TeamTARO PLUSONE	CBR600RR	1'59.255
41	92	東野 賢悟	RSGレーシング&フィービー	CBR600RR	1'59.267
42	8	清水 直樹	MST★TAMITON-R	ZX-R6	1'59.316
***** 以上予選通過 *****					
43	33	深津 拓真	PLOT PANTHERA	GSX-R600 K8	1'59.482
44	14	津田 拓也	West Power	GSX-R600K8	1'59.548
45	60	北折 淳	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR600RR	1'59.956
46	67	谷口 和英	チーム ライダーズ コア	YZF-R6	2'00.235
47	68	徳島 康則	UENO R&D 野口商店	YZF-R6	2'00.703
48	51	中村 豊	TEAM PLUS ONE	CBR600RR	2'02.169
49	57	岡本 雄一郎	RT-JIN	CBR600RR	2'03.222

***** 以上予選基準タイム（2'06.907 - 110%）*****
"R" マークは、コースレコードを更新しました。従来のレコードタイムは 1'55.885

J-GP3

●予選：天候／曇　路面／ドライ　出走26台
●決勝スタート／10:25（14周）

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	10	youth	山本 剛大	Team NOBBY	RS125	1'59.500
2	23		鎌田 悟	ENDURANCE+桶川スポーツランド	RS125R	1'59.564
3	11	youth	篠崎 佐助	チーム テック2	TZ125	1'59.672
4	91		森 俊也	racing sayama	RS125R	1'59.933
5	3		尾野 弘樹	BATTLE FACTORY	RS125R	2'00.016
6	6	youth	大久保 光	18 GARAGE RACING TEAM	RS125R	2'00.194
7	5		岩田 裕臣	TEAM PLUS ONE	RS125R	2'00.302
8	1		菊池 寛幸	WHEELIE with KRT	RS125	2'00.354
9	13	youth	浦本 修充	MuSASHiRTハルク・プロ	RS125R	2'00.494
10	17	youth	藤井 謙汰	TSR	RS125R	2'00.643
11	77	youth	野左根 航汰	ウェビックチームノリックヤマハ	TZ125	2'00.747
12	12	youth	長島 哲太	Projectμ7C HARC	RS125R	2'01.005
13	7		矢作 雄馬	桶川塾&ENDURANCE	RS125R	2'01.061
14	15	プロト	仲城 英幸	Projectμ7C HARC	HP25RW	2'01.070
15	4		徳留 真紀	チームアライアンス&ハルクプロ	RS125	2'01.127
16	61		今中 満	team RISKY	RS125R	2'01.270
17	71		安村 武志	チーム テック2	TZ125	2'01.475
18	16	youth	大金 佑輝	ENDURANCE&桶川塾	RS125R	2'01.514
19	29	youth	渡辺 陽向	Projectμ7C HARC	RS125R	2'01.576
20	76		高杉 奈緒子	モトバムwithヒポポタマス	RS125R	2'01.879
21	21	youth	中本 翔	リリカAMENA with OUTRUN	RS125R	2'01.986
22	46	youth	渡辺 ユヰ	TEAM YUI	RS125R	2'02.719
23	78		中村 丈士	ドリーム北九州・Life	RS125R	2'03.183
24	27		天野 邦博	Honda狭山レーシングチーム	RS125R	2'03.454
25	95		中村 光利	team RISKY	RS125	2'05.006
26	35		大西 隼	Projectμ7C HARC	RS125R	2'05.177

***** 以上予選通過基準タイム（2'11.450 - 110%）*****

INFORMATION

大会記念公式プログラム オフィシャルショップで好評発売中!!

大会情報、レース情報が満載の公式プログラム。
この予選速報号と一緒に読めば、レース観戦はバッチリ!!
限定発売、ご購入はお早めに!!

＜大会記念＞
公式プログラム
1,000円（税込）

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

10:10 -	J-GP3 コースイン～選手紹介
10:25 -	**J-GP3決勝レース.....14Laps**
11:15 -	ASIA UB コースイン～選手紹介
11:30 -	**ASIA UB 決勝レース-2.....9Laps**
12:10 -13:05	ピットウォーク～2010キッズラン・ASIAエクスペリエンス
13:15 -	ASIA SS600 コースイン～選手紹介
13:30 -	**ASIA SS600 決勝レース-2.....12Laps**
14:20 -	JSB1000/J-GP2 コースイン～選手紹介（セレモニー）
14:40 -	**JSB1000/J-GP2決勝レース.....18Laps**
15:40 -	ST600 コースイン～選手紹介
15:55 -	**ST600決勝レース 16Laps**
17:00 -	※レース終了後～サーキットクルージング（2輪体験走行）

MFJプロモーション委員会事務局：東京都中央区築地3丁目11番6号　築地スクエアビル10階　TEL：03-5565-0900　2010年5月23日（日）発行　●オフィシャルサイト　http://www.mfj.or.jp/　●オフィシャルファンサイト　http://superbike.jp/